

大凧 便り

第199号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界凧博物館東近江大凧会館 令和4年12月19日発行
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町 3-5
TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860
IP: 050-5801-1140
開館時間: 9時~17時 休館日: 毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日
平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

＝祝新成人 20 畳大凧完成！＝♪「ウキウキ ワクワク」♪



11月5日(土)から約1ヶ月をかけ製作を行っていた2023年祝新成人「20畳敷東近江大凧」は、12月8日(木)夜に完成しました。完成の記念撮影の後、成人式実行委員会のメンバーが、「夢をかなえる」「たくさんの人に感謝を伝える」「国家試験合格」「何事にも挑戦」などが書かれた二十歳の願い札、約100枚を大凧の裏に貼る作業を行いました。

令和5年(2023年)の大凧の絵柄は、兎(うさぎ)年にちなんで上部に兎を二羽、背景に木の年輪を描き、下部に「湧」の文字と数字の「2」が書かれ、『ウキウキ(兎木兎木) ワクワク(湧2)』と読ませます。

二十歳を迎えられたみなさんは、これからの将来に何が起こるか!?「ウキウキ ワクワク」、希望を持ってみんなで歩みましょうとメッセージが込められています。



切り抜き・合体

化粧塗り

丸骨取付け

つり糸取付け

完成した大凧は、12月29日(木)から令和5年1月4日(水)までのびわ湖大津プリンスホテルに展示します。

＝新春凧揚げ大会＝

祝新成人 20 畳敷大凧揚げが開催される1月8日(日)に新春凧揚げ大会を開催します。大凧会館や学校・地域の凧作り教室で作った凧やお店で買った凧、どんな凧でもOKですので、凧を持って参加してください。

特典として、凧を持参の小学生以下のみなさんにサイコロを振って出た目の数だけ「みかん」をプレゼントします。

14時ごろには、新成人を祝った20畳敷きサイズの大凧が揚げられます。20畳大凧と一緒に凧揚げを楽しみましょう。

日時 令和5年 1月 8日(日)(荒天の場合中止)
11:30~14:30(受付:11:00から)

会場 聖徳中学校グラウンド(東近江市聖徳町1番1号)

駐車場については、当日聖徳中学校駐車場は駐車できませんので近くの「保健子育て複合施設ハピネス」の駐車場をご利用ください。

＝年末年始の休館日のお知らせ＝12月27日(火)から1月2日(月)まで休館を致します。1月3日(火)から通常とおり開館を致します。

新年は東近江大凧会館にお越しく下さい。

＝新春特別企画 兎(うさぎ)の凧と郷土玩具展＝

開催期間：令和5年1月3日(火)～1月22日(日)

開催時間：9時～17時まで 入館料：一般300円 小・中学生150円
休館日：水曜日・1月10日



来年の干支は「兎(うさぎ)」です。「うさぎ年」は縁起がよいといわれています。卯年は、芽を出した植物が成長していき、茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて成長する年だと言われています。また、うさぎは飛び跳ねることから「飛躍する」という象徴となります。さらに、たくさんの子を産むことから「豊穰、子孫繁栄のシンボル」となります。



東近江大凧会館では、新春恒例の特別企画展「干支の凧と郷土玩具展」を1月3日(火)から1月22日(日)まで開催します。今回は「兎」の図柄や題材で作られた「凧」と「郷土玩具」を約200点展示します。扇形の可愛らしい凧なども展示します。郷土玩具は東近江市の「小幡土人形」など全国の人形や「からくり玩具」などを展示します。また先着150名様にミニ干支凧(新成人20畳敷大凧の兎の図柄)をプレゼントします。なくなり次第終了となりますのでお早目にお越しください。

コロナウイルス感染症の流行する兆しが見えてきましたが、コロナウイルスの感染症の軽症化が進み、行動制限もなくなっておりますが、対策を十分とっていただき、来年はいい年をお迎えください。

郷土玩具出展者の甲津義彦さんの展示解説
開催日時 令和5年1月9日(月) 13:30～14:30
定員 15人 (当日受付：事前予約は必要ありません。)

＝三チャレンジ“大凧”＝

東近江大凧保存会では、滋賀県東近江市の地域文化であり、国の無形民俗文化財にも選択されている「東近江大凧」の将来の担い手となる子ども達に、その製作及び飛揚技術を伝授するプロジェクト『チャレンジ“大凧”』を3年ぶりに開催し、12月10日(土)に東近江市内蒲生運動公園第1グラウンドで完成した8畳敷大凧を飛揚しました。



飛揚当日は快晴ですが、風がまったくありません。保存会から飛揚の手順や注意などの説明を受け、若干吹いている風の方向を見ながら大凧を移動し大凧揚げを行いました。子どもたちは会長の飛揚合図に合わせて綱を一生懸命ひっぱります。しかしながら、風のない中の凧揚げです。上手く揚がりません。何度か挑戦し、少し浮かす大凧揚げとなりました。次回は1月8日(日)、聖徳中学校で行う「新春凧揚げ大会」で飛揚予定です。

＝ぷらっと旅気分～eo光テレビ～＝

eo光チャンネルの「ぷらっと旅気分」で、「勝利の神様と大凧の里～滋賀県東近江市～」のタイトルで大凧会館が紹介されています。
https://eonet.jp/eohikari_ch/program/tabikibun/episode_02444.html

＝～兎(うさぎ)の凧絵～ガリ版年賀状作り＝



年の瀬もいよいよ迫ってきました。冬至間近になって、お天気も曇りの多い雪模様になってきました。来年の干支の凧を模したガリ版の年賀状作りが12月11日(日)に大凧会館で行いました。たくさんの小学生のこども達と保護者の方が参加され「がりがり」と昔懐かしい鉄筆を使ったガリ版刷りを体験していただきました。体験されたみなさんの感想をみると、「下絵を鉄筆でなぞるのが難しかった」や「インクを1回で強くゆっくり刷るのがむずかしかった」など。でも、出来上がったガリ版年賀状をみて、「また、やりたい」「年賀状だけじゃなくいろいろな絵葉書を作りたい」と意欲的な感想もありました。現代はなんでも便利であることが一番みたいになっていますが、こんなに原始的(??)な印刷も体験することで「面倒くさいことにも喜びがある」と昔のものを見直す機会にもなったのではないのでしょうか。パソコンやコピー機を使うのは簡単で便利かもしれませんが、鉄筆を握りしめて自分の思いのつまった絵や文字を一生懸命かいているこども達はなんかキラキラ輝いていました。手作りのガリ版年賀状を受け取った方もきっと楽しいお正月を迎えられることでしょう。



＝親子凧作り教室

～空を飛ぶサンタクロースの凧を作ろう～



「今年はサンタさんに何をお願いしようかな。」と子ども達だけではなく大人もウキウキワクワクしながら待ち望むクリスマス。大凧会館では一足早くたくさんのサンタさんがやってきました。12月17日(土)、毎年恒例のサンタクロースの親子凧作り教室が開催されました。サンタの形に切り取られた凧の紙に、思い思いの色を塗り、骨組みをしていきます。約2時間半に及ぶ作業時間でしたが、皆さん真剣に作業に集中しておられました。一つ一つの作業を終えると、「できた!」と満足げな顔の子ども達でしたよ。この日は、午前午後合わせて13組の親子がご参加いただき、17枚のサンタの凧が出来上がりました。「色を塗るのが面白かった。」「糸をくくるのが難しかったけど、できて良かった。」「また違う凧も作ってみたい。」などの感想もいただきました。



1回目(午前の部)



2回目(午後の部)

＝2023年1月の予定＝

- 3日(火)～22日(日)「兎の凧と郷土玩具展」開催
- 8日(日) 新春凧揚げ大会 11:30～14:30
2023年祝新成人「20畳敷東近江大凧揚げ」14時ごろ
- 9日(月) 兎の張り子 絵付け教室
- 9日(月) 郷土玩具出展者の甲津義彦さんの展示解説
- 14日(土) チャレンジ“大凧”まとめ
- 15日(日) 近江ダルマ作り 絵付け教室
家族ふれあいサンデー
- 17日(火) 八日市北小学校4年生見学
- 20日(金) 近江八幡市立老蘇小学校1年生 凧作り
- 21日(土) 大津市プリディア大津京 凧作り
- 23日(月) 三雲東小学校1年生 見学と凧作り
- 26日(木)～2月12日(日) 「鬼退治!! 鬼の凧展」
- 27日(金) 三雲養護学校 見学と凧作り